

第61期 中間事業報告書

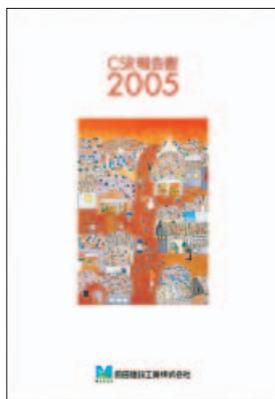
平成17年4月1日～平成17年9月30日



前田建設工業株式会社

目次

株主の皆様へ	1
MAEDAニュース	3
グループ会社紹介	4
完成工事紹介	5
施工中の工事紹介	6
単体財務諸表(中間)の要旨	7
連結財務諸表(中間)の要旨	8
会社の概要	9
役員	10



CSR報告書



上記のロゴマークは、当社香港支店が開設40周年をこえたことを記念して作成したものです。

表紙：(左上) 葵涌²⁷⁴開発計画工事(昭和42年完成)
(左下) 香港国際空港(平成10年完成)
(右上) 汲水門^{カブスイモン}大橋(平成9年完成)
(右下) 香港地下鉄508^{ライオン}工区荔景駅(平成10年完成)

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成17年9月30日をもって、第61期の上半期を終了いたしましたので、ここに中間の営業の概況をご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、情報技術関連の在庫調整が一巡し、製造業を中心に企業業績の改善が進むなか、民間設備投資の拡大が続くとともに、雇用情勢や所得環境にも明るさがみられるなど、景気は内需主導の緩やかな回復基調にありました。

建設業界におきましては、公共投資は、災害復旧関連工事の増加が一部にみられましたが、公共工事受注金額は前年を下回るなど、依然として厳しい状況にありました。一方、民間建設投資は、住宅建設投資は堅調に推移するとともに、店舗や工場などの非住宅建設投資は増加傾向にあり、建設投資全体では明るい兆しもみられました。

このような情勢のもと、当社は、建築工事においては、工場、商業施設ならびに教育施設の受注が増加し、重点施策であるソリューション機能の強化が実を結ぶ結果となりました。土木工事においては、治水関係事業では国内初のCM(コンストラクションマネジメント)業務を国土交通省北

陸地方整備局から受注し、海外においてもスリランカで水力発電所関連工事を受注するなど、積極的な営業活動を展開してまいりました。また、当社の社会的責任（理念や役割）を明確化し、その取り組み内容を積極的に情報開示するとともに、企業価値向上の実現を図るマネジメントツールとして「CSR報告書2005」を発行いたしました。

当上半期の受注高につきましては、建築工事が1,385億円余、土木工事が500億円余で受注高合計は1,886億円余となりました。また、売上高（完成工事高）につきましては、建築工事が1,076億円余、土木工事が271億円余で売上高合計は1,348億円余となりました。

利益につきましては、完成工事総利益は52億円余、経常損失は57億円余、中間純損失は33億円余となりました。

今後の見通しにつきましては、原油価格の高騰の影響が企業の景況感や収益の悪化要因となる懸念はあるものの、景気は緩やかな回復基調が続くものと予想されます。

建設業界におきましては、公共投資は、国および地方自治体の厳しい財政事情から前年度比マイナスが予測されますが、民間建設投資の非住宅建設投資が引き続き増加するものと期待され、受注環境は総じて民間主導で底堅く推移すると見込まれます。

このような状況のなかで、当社は、価格競争力やブランド力の向上など「第3次中期経営計画」に掲げた諸施策に取り組むとともに、「技術力」「環境力」「品質力」「財務力」「新規力」それぞれの力を総合して、お客さまが求める便利さや快適さの追求に全力を尽くしてまいります。これらの活動を通じて、社会や顧客に信頼される企業として、更なる社業の発展に努力を重ねる所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

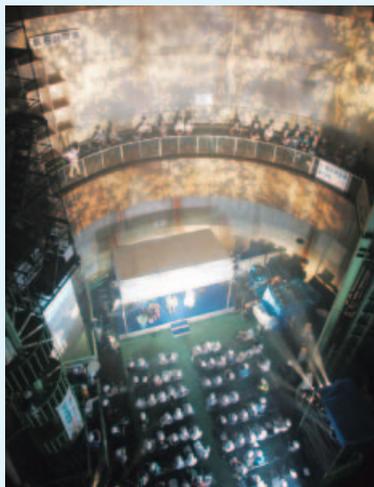
平成17年12月



代表取締役社長

前田靖治

地下から奏でるメロディ ～日比谷共同溝工事より～



現代音楽演奏会の様子

大都市東京を走る国道1号線の地下40mにトンネル内径6.7mの日比谷共同溝が存在しています。当工事は、上下水道・電気・電話のライフラインを1本の共同溝にまとめて収納することにより、個別の工事を減らすとともに、ライフラインの安全性を高めることを目的としています。

平成16年4月に港区の虎ノ門立坑からシールドマシンを発進させ、コンピュータ制御により誤差3cm以下という極めて高い精度のもと、1日に最大約10mを掘り進みながら、平成17年5月に1,424m先の千代田区の日比谷立坑に到達しました。

また、平成15年より公共事業への理解を広く得るため「東京ジオサイトプロジェクト」を展開し、10月末までに延べ236回の見学会が行われ、小泉首相をはじめとする9,257人が実際に共同溝内を歩かれました。平成17年8月26日には現代音楽を奏でる演奏会が行われ、一瞬にして共同溝は「地底音楽堂」に様変わりしました。

このように多様な側面を見せた共同溝は、平成17年10月に無事完成いたしました。

【工事概要】

所在地：東京都港区虎ノ門一丁目（発進立坑）～東京都千代田区日比谷公園（到達立坑）
発注者：国土交通省関東地方整備局
工期：平成14年3月～平成17年10月



品質経営度ランキングで 8位の高評価

日本経済新聞社と(財)日本科学技術連盟が実施した第2回「品質経営度調査」において、当社が総合ランキングで第8位の評価をいただきました。

この調査は、品質向上への取り組みや実践状況を6つの項目から客観的に評価したもので、ランキングの上位企業ほど「より品質にこだわる企業」ということができます。

評価項目のひとつである「現場管理と品質保証」で当社が首位となったことは、長年取り組んできた改善活動に加え、平成15年の「品質強化宣言」後、より一層現場での品質改善に力を入れてきた結果といえます。

今後もより高い品質力への『限りなき挑戦』を続けていきます。

「からコンクリ人形」が コンクリートアートミュージアム金賞受賞

去る6月24日に行われた第2回コンクリートアートミュージアム（日本コンクリート工学協会主催）において、当社が出展した「からコンクリ人形」が、アイデア部門で金賞を受賞いたしました。このミュージアムの目的は、芸術・装飾としての今までにないコンクリートの使い方をした作品を展示することです。

「からコンクリ人形」は、「コンクリートの新たな可能性の創造」をテーマに製作され、構造部材のスリム化と高強度化を両立するとともに、頭部を軽量化する工夫を行いました。

今後は、製作過程で得た技術を応用し、化石燃料や電気を使わない低コスト動力による運搬システムを開発していく予定です。



完成工事紹介



ホテルエミオン東京ベイ

当ホテルは、東京ディズニーリゾートのパートナーホテルとして建設された地上24階建て、客室数389室の都市型リゾートホテルです。お客様の安全性と快適な滞在時間を保証する免震構造が採用されています。天然温泉を含むスパやスカイラウンジ、ロードサイドレストランが併設され地域に根ざした交流空間としても期待されています。



香港地下鉄580工区欣澳(旧称陰澳) 駅建設工事

当工事は、香港地鐵会社が香港ディズニーランドテーマパークへのアクセスとして計画したDisneyland Resort Lineの内、稼働中の空港線に接続する新駅舎と既設線両脇に180mの乗り換え用プラットフォームを建設する工事です。駅の屋根部には特殊な天幕を張り、壁部にはガラスウォールを構築するなど、開放感のある明るい駅に仕上がりました。



鳥取自動車道用瀬第一トンネル工事

当工事は、日本道路公団発注の姫路市から鳥取市にいたる中国横断自動車道姫路鳥取線の工事です。工事場所は鳥取市に位置し、工事延長1,609mのうち、トンネル延長は1,464m、ボックスカルバート2函を含む2箇所の水路工と土工区間145mを施工しました。当トンネルは鳥取県側7本のトンネルのうち最初に貫通、竣工し、全線開通後は、山陰と京阪神・山陽地域間の所要時間が約40分短縮されます。

※ボックスカルバート…道路の下に下水道・排水路・地下河川用などの空間を得るための箱型コンクリート構造物である。



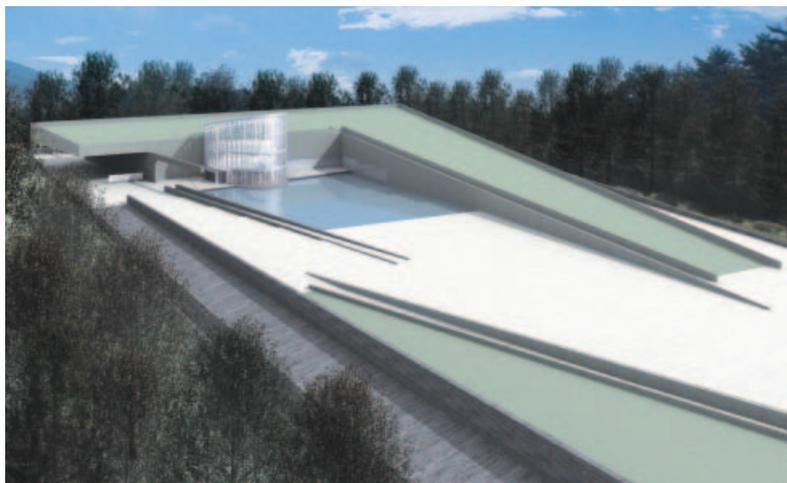
東芝林間病院新病棟

当病院は、昭和28年に東芝健康保険組合により開設されたもので、50周年を期に大規模な建替が計画され、今回の新病棟(一般病床120床、回復期リハビリテーション病床40床、療養病床39床)に生まれ変わりました。当社の設計・施工によるもので、バルコニー先端にPC(プレキャストコンクリート)を採用し、また、5階の特別室には当社開発の放射空調設備を採用しています。各種サインは植物の多い土地柄をとりいれ季節感のあるテーマ植物でコーディネートされています。

(仮) インクス長野・茅野プロジェクト



施工中の写真



完成予想図

株式会社インクスの長野県茅野市に立地する新工場を、当社の設計・施工にて受注しました。

当社は、数年前より、立地エリアのマーケティング、土地の選定、企画、構想に関わり、エンジニアリング力とトータルマネジメント力を活用し受注に至りました。また、「建物のブランド化」を目的として、世界的にも著名な建築家集団である米国のKPF (Kohn Pedersen Fox Associates PC) とのコラボレーションにより、デザイン、プロポーシオン、新しいメッセージ性を持った情報発信基地にふさわしい次世代の工場の完成を目指しています。

インクス社のコンセプトである「第三次産業革命」を「IT」と「プロセステクノロジー」を活用して実現するこの新工場には、様々な設計コンセプト（オール電化、省エネ、環境、バックアップシステム、セキュリティ他）が導入される予定です。

平成18年6月のグランドオープンを予定しており、新しいインパクトを産業界に与えることが期待される施設です。

【工事概要】

所在地：長野県茅野市
発注者：株式会社インクス
工期：平成17年1月～
平成18年3月末

敷地面積：約38,500㎡
延床面積：約8,500㎡
建築面積：約4,800㎡
構造規模：地下1階、地上3階
S造・一部RC造

単体財務諸表(中間)の要旨

●貸借対照表

科目	(単位：百万円)	
	当中間期	前中間期
資産の部		
流動資産	394,039	430,492
現金預金	42,506	33,848
受取手形	6,445	9,337
完成工事未収入金	65,189	48,074
有価証券	1,013	104
未成工事支出金	231,802	285,100
その他	47,080	54,026
固定資産	157,498	142,637
有形固定資産	57,364	59,582
建物・構築物	21,846	23,237
機械・運搬具	3,440	3,821
工具・器具備品	935	1,082
土地	30,917	31,400
建設仮勘定	225	40
無形固定資産	5,739	4,507
投資その他の資産	94,394	78,547
投資有価証券	81,806	66,466
その他	12,587	12,081
資産合計	551,537	573,130
負債の部		
流動負債	330,827	356,642
工事未払金	62,863	59,706
短期借入金	31,742	31,391
一年以内償還の社債	10,000	—
未成工事受入金	193,665	234,578
その他	32,555	30,965
固定負債	67,195	73,731
社債	39,000	34,000
長期借入金	—	8,000
退職給付引当金	25,071	28,649
その他	3,124	3,081
負債合計	398,023	430,373
資本の部		
資本金	23,454	23,454
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	77,117	73,825
その他有価証券評価差額金	21,391	13,919
自己株式	△28	△22
資本合計	153,514	142,756
負債・資本合計	551,537	573,130

(注)有形固定資産の減価償却累計額

526億円

511億円

●損益計算書

科目	(単位：百万円)	
	当中間期	前中間期
売上高	134,814	105,824
売上原価	129,579	99,260
販売費及び一般管理費	11,451	10,975
営業損失	6,216	4,411
営業外収益	1,538	1,401
営業外費用	1,087	830
経常損失	5,764	3,840
特別利益	616	462
特別損失	246	6,547
税引前中間純損失	5,394	9,924
法人税、住民税及び事業税	60	70
法人税等調整額	△2,074	△2,488
中間純損失	3,379	7,506
前期繰越利益	1,244	2,079
中間未処理損失	2,135	5,427
(注)1株当たりの中間純損失	18円25銭	40円54銭

●業績予想

	(単位：百万円)	
単体	当期予想	前期実績
売上高	430,000	418,193
経常利益	7,000	7,992
当期純利益	3,500	876
連結	当期予想	前期実績
売上高	478,000	463,774
経常利益	9,500	9,203
当期純利益	5,500	1,193

連結財務諸表(中間)の要旨

●貸借対照表

科目	(単位：百万円)	
	当中間期	前中間期
資産の部		
流動資産	413,221	453,416
現金預金	44,514	35,882
受取手形・完成工事未収入金等	81,947	68,600
未成工事支出金	236,391	288,971
その他	50,368	59,962
固定資産	188,271	170,935
有形固定資産	72,326	73,076
建物・構築物	34,095	34,073
機械・運搬具・工具・器具備品	6,460	6,827
土地	31,511	31,987
建設仮勘定	259	187
無形固定資産	5,855	4,629
投資その他の資産	110,088	93,229
投資有価証券	94,502	78,046
その他	15,586	15,182
資産合計	601,493	624,352
負債の部		
流動負債	352,771	381,220
工事未払金等	71,544	69,569
短期借入金	46,422	51,753
一年以内償還の社債	10,000	—
未成工事受入金	195,318	236,705
その他	29,486	23,191
固定負債	74,908	81,857
社債	38,500	33,500
長期借入金	4,132	12,712
退職給付引当金	27,830	31,634
その他	4,446	4,010
負債合計	427,679	463,078
少数株主持分		
少数株主持分	3,343	2,681
少数株主持分合計	3,343	2,681
資本の部		
資本金	23,454	23,454
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	98,106	94,045
その他有価証券評価差額金	22,144	14,234
為替換算調整勘定	△50	△51
自己株式	△4,765	△4,670
資本合計	170,469	158,592
負債、少数株主持分及び資本合計	601,493	624,352

●損益計算書

科目	(単位：百万円)	
	当中間期	前中間期
売上高	156,794	128,826
売上原価	148,054	118,678
販売費及び一般管理費	14,534	14,011
営業損失	5,794	3,863
営業外収益	1,178	1,237
営業外費用	1,321	1,180
経常損失	5,937	3,806
特別利益	623	538
特別損失	269	8,103
税金等調整前中間純損失	5,582	11,371
法人税、住民税及び事業税	271	257
法人税等調整額	△2,064	△2,991
少数株主利益	27	—
少数株主損失	—	487
中間純損失	3,817	8,149

●キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位：百万円)	
	当中間期	前中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,568	10,503
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,845	△5,603
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,971	△1,545
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	40
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△15,355	3,395
現金及び現金同等物の期首残高	59,515	32,213
現金及び現金同等物の中間期末残高	44,159	35,608

●剰余金計算書

科目	(単位：百万円)	
	当中間期	前中間期
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	31,579	31,579
資本剰余金中間期末残高	31,579	31,579
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	103,529	104,196
利益剰余金減少高	5,423	10,150
利益剰余金中間期末残高	98,106	94,045

会社の概要 (平成17年9月30日現在)

●創業 大正8(1919)年1月8日

●設立 昭和21(1946)年11月6日

●資本金 23,454,968,254円

●従業員 3,496名

●ホームページアドレス <http://www.maeda.co.jp/>

●会社が発行する株式の総数 635,500,000株

●発行済株式総数 185,213,602株

●株主数 9,080名

●大株主リスト

株主名	持株数	出資比率
光が丘興産株式会社	24,311千株	13.13%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,699	10.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,126	7.63
前田道路株式会社	7,250	3.91
前田建設工業社員持株会	6,267	3.38
株式会社みずほコーポレート銀行	5,100	2.75
株式会社三井住友銀行	4,150	2.24
株式会社損害保険ジャパン	3,410	1.84
UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	3,195	1.73
明治安田生命保険相互会社	3,000	1.62

●事業所

- 本 店 東京都千代田区富士見2の10の26
〒102-8151 ☎ (03) 3265-5551
- 光が丘本社 東京都練馬区高松5の8 J.CITY
〒179-8903
- 北海道支店 札幌市中央区南11条西11の2の1
〒064-8552 ☎ (011) 551-6141
- 東北支店 仙台市青葉区二日町4の11
〒980-0802 ☎ (022) 225-8862
- 関東支店 東京都千代田区九段北4の3の1 (一口坂中央ビル)
〒102-8215 ☎ (03) 3222-0820
- 東関東支店 千葉市中央区中央3の3の1 (フジモト第一生命ビル)
〒260-0013 ☎ (043) 227-3031
- 北関東支店 さいたま市大宮区大門町3の169の2 (セコム損保大宮ビル)
〒330-0846 ☎ (048) 649-1601
- 長野支店 長野市篠ノ井御幣川1095
〒388-8006 ☎ (026) 292-0671
- 横浜支店 横浜市神奈川区反町2の16の8
〒221-0825 ☎ (045) 313-7000
- 北陸支店 富山市牛島町18の7 (アーバンプレイス)
〒930-0858 ☎ (076) 431-7531
- 福井支店 福井市手寄1の16の14
〒910-0858 ☎ (0776) 24-2401
- 中部支店 名古屋市中区栄5の25の25
〒460-0008 ☎ (052) 251-6251
- 関西支店 大阪市中央区久太郎町2の5の30
〒541-8529 ☎ (06) 6243-2411
- 神戸支店 神戸市中央区三宮町1の3の1 (神戸Fビルディング)
〒650-0021 ☎ (078) 321-3248
- 四国支店 高松市寿町1の1の12 (東京生命館)
〒760-0023 ☎ (087) 851-6341
- 中国支店 広島市中区鶴見町2の19 (ルーテル平和大通りビル)
〒730-0045 ☎ (082) 246-9181
- 九州支店 福岡市博多区博多駅東2の14の1 (スフィクスセンター)
〒812-0013 ☎ (092) 451-1541
- 香港支店 Room 1601-1605, New East Ocean Centre,
9 Science Museum Road, T.S.T East Kowloon, Hong Kong.
- 技術研究所 東京都練馬区旭町1の39の16
〒179-8914 ☎ (03) 3977-2241
- 営業所 全国39ヵ所
- 海外事業所 グアム出張所 (米国)
バンコック出張所 (タイ)
プノンペン出張所 (カンボジア)
台湾出張所 (台湾)
スリランカ出張所 (スリランカ)
ロサンゼルス駐在員事務所 (米国)
ジャカルタ駐在員事務所 (インドネシア)
北京駐在員事務所 (中国)
上海駐在員事務所 (中国)
ハノイ駐在員事務所 (ベトナム)
ホーチミン駐在員事務所 (ベトナム)
ヤンゴン駐在員事務所 (ミャンマー)

役員 (平成17年9月30日現在)

取締役名誉会長		前田 又兵衛
取締役会長		布施 洋一
取締役副会長		峯本 守
代表取締役社長	執行役員社長	前田 靖治
代表取締役	執行役員副社長	上田 恵一郎
代表取締役	執行役員副社長	廣田 正
代表取締役	執行役員副社長	川嶋 信義
取締役	専務執行役員	友部 雄策
取締役	専務執行役員	工藤 和男
取締役	専務執行役員	前田 操治
取締役	専務執行役員	江尻 正義
取締役	常務執行役員	西川 博隆
取締役	執行役員	福田 幸二郎

監査役 (常勤)		皆合 達夫
監査役 (常勤)		加藤 敏夫
監査役 (常勤)		上杉 慶次
監査役		城内 康光
監査役		桑田 勝利

専務執行役員		加藤 彰
常務執行役員		大和 稔
常務執行役員		富岡 康直
常務執行役員		藤森 泰明
常務執行役員		中島 治郎
常務執行役員		山田 和男
常務執行役員		大木 俊英
常務執行役員		長谷 康生
常務執行役員		永尾 眞
常務執行役員		横沢 和夫
常務執行役員		田口 神酒雄
執行役員		井上 隆三郎
執行役員		高橋 勉
執行役員		横田 浩
執行役員		劔地 弘隆
執行役員		川瀬 祥一郎
執行役員		赤島 正晃
執行役員		市川 泰彦
執行役員		新藤 周一
執行役員		竹内 利征
執行役員		小原 稔生
執行役員		加藤 正明
執行役員		橋本 茂男
執行役員		浅野 雅行
執行役員		小原 好一

(注) 監査役皆合達夫、城内康光および桑田勝利の3氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。



前田建設工業株式会社 Maeda Corporation

●株主メモ

1. 決算期 3月31日
2. 定時株主総会 6月中
3. 上記基準日 3月31日
なお、あらかじめ公告して、基準日を定めることがあります。
4. 配当金 毎年3月31日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対してお支払いします。
5. 1単元の株式の数 1,000株
6. 名義書換代理人
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
〒103-8670
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
7. 手数料 名義書換 無料
株券再発行 1枚につき262円（消費税含む）
8. 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞
※当社は決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社ホームページ（<http://www.maeda.co.jp/>）に掲載しています。
9. 郵便物送付及び
電話お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
☎ 0120-288-324（フリーダイヤル）



ホームページアドレス
<http://www.maeda.co.jp/>



この事業報告書は、
環境に優しい大豆油
インキを使用して印
刷しています。

